

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	ごみ処理広域化推進事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	01ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	平成27年度～平成53年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	その他
関連根拠法令等	地方自治法第252条の14第1項

【事業概要】

現状と課題	平成27年度から高砂市に加古川市のごみ処理事務を委託、平成28年度から建設期間中の高砂市のごみ処理事務を受託している。平成34年度までに周辺環境整備事業、ごみの受入基準、2市2町のごみの分別方法等、広域ごみ処理に関する施策について慎重な協議が必要。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	ごみの適正処理、生活環境の保全及び循環型社会の形成推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	平成34年度に2市2町が供用開始する広域ごみ処理施設の建設
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	定期的開催される廃棄物広域処理推進部会や広域ごみ処理連絡部会などで、2市2町の意見交換や連絡調整を行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	54,372千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	2,300千円
	その他特財	千円
	一般財源	52,072千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	02塵芥処理費
細目	030ごみ処理広域化推進事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	54,372千円	62,185千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>広域ごみ処理連絡部会等で、広域ごみ処理施設建設に向けた意見交換や連絡調整を円滑に行うことができた。平成28年度は、広域ごみ処理施設建設・運営事業者が決定し、施設解体工事など具体的な事業に着手できた。引き続き2市2町で広域ごみ処理事業に係る連絡調整や調査研究を行う。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	ごみ処理広域化推進事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
クリーンセンター焼却量	トン	80,208	88,246	
不燃粗大ごみ量	トン	4,571	4,045	

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
広域ごみ処理協議回数	回	15	18	
活動指標分析結果	2市2町で事業を進める上で必要な協議を実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
広域ごみ処理施設整備事業実施状況	%	100	100		平成33年度	100
成果指標分析結果	広域ごみ処理施設整備に関し、各年度に計画している事業を遅滞無く進めることができた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	塵芥収集管理事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	01ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	ごみ減量化と、ごみ区分の最適化による資源化率の向上により、今後さらにごみ排出量の削減に努める必要がある。そのため、適正な収集を実施するための管理を行う必要性が高まっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	塵芥処理に関する一般的管理運営を行い、廃棄物の適正処理の推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市内全域
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	塵芥処理に関する一般的管理運営を行う。廃棄物の適正処理の推進を図る。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	377千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	377千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	02塵芥処理費
細目	005塵芥収集管理事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	377千円	425千円	326千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 塵芥処理に関する一般的管理運営を行い、廃棄物の適正処理を図ることは、市の施策として必要と考える。
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	塵芥収集管理事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	清掃一般管理事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	01ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	ごみ減量化と、ごみ区分の最適化による資源化率の向上により、今後さらにごみ排出量の削減に努める必要がある。そのため、ごみ処理に関する各種の情報を収集し、調査研究を進める必要性が高まっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	清掃業務に関する一般管理運営を行い、ごみの適正処理の推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	清掃業務に関する一般的管理運営を行う。

【コスト】

		平成28年度(決算見込)
事業費合計		3,225 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	3,225 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	01清掃総務費
細目	005清掃一般管理事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	3,225 千円	2,120 千円	1,692 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ごみの適正処理の推進に係る業務に関し、適切な業務運営が図られている。
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	清掃一般管理事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	環境美化センター維持補修事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	施設の老朽化が進んでいる。また、建築材料にアスベストを使用しているため、除去が必要となる箇所がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	ごみ収集及びし尿収集業務の適切な運営を実施するために、環境美化センター施設の維持を実施する。
対象 ※誰、何に対して	環境美化センター
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	環境美化センター施設の維持及び管理業務を実施する。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	32,513 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,769 千円
	一般財源	30,744 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	01 清掃総務費
細目	020 環境美化センター維持補修事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	32,513 千円	31,483 千円	32,444 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	環境美化センターの維持管理に関し、委託業務も含めて適切に実施されている。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	環境美化センター維持補修事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	ごみステーション整備事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	01ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	近年、開発行為を行う場合はごみステーションの設置義務等を求めているが、いわゆるミニ開発を続けた地域では世帯数が多いにも係らず、ごみステーションが面積、箇所数ともに不足している課題がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	適正なごみステーションの整備を行うことにより、地域の環境美化育成を図る。
対象 ※誰、何に対して	町内会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	町内会がごみステーションを設置、整備する場合に要する費用の補助を行う。またごみステーションに分別指導看板を設置する。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	1,568 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,568 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	02塵芥処理費
細目	005塵芥収集管理事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	1,568 千円	905 千円	899 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>ごみ収集が円滑に行われるとともに、地域の生活環境及び公衆衛生が維持される。またごみステーション整備補助に関しては、費用対効果が高い事業であると考えられる。市内にあるステーション全てを一度に整備することは困難なため、計画的に補助整備を行うことが必要である。</p>

加古川市事務事業評価シート（平成28年度実施事業）

事務事業名	ごみステーション整備事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
単位町内会・自治会数	町内 会・自 治会	320	322	321

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
ごみステーション整備 箇所数	箇所	36	16	13
分別看板配布枚数	枚	60	55	50
活動指標 分析結果	28年度は整備件数及び補助金額が伸び、また収集効率を高める効果があるごみステーションの統合については1件あった。看板については新規設置や汚損による交換が主である。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
ごみステーション数	箇所	3,564	3,526	3,432	平成28 年度	3,500
成果指標 分析結果	世帯数が漸増し、市域全域で宅地のスプロール化が進むなか、ごみステーション数は38件増加した。収集作業の効率化、安全性の確保を図るためには、適正なごみステーションの設置、整備が求められる。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	産業廃棄物処理事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	平成24年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、循環型社会形成推進基本法、廃棄物処理法

【事業概要】

現状と課題	事業系の金属類等は、定められた処理が義務付けられており、適切に処理する必要がある。環境負荷の少ない循環型社会の形成に寄与するため、廃棄物の分別はもちろん、更なる減量が求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川市が事業者として排出する産業廃棄物を適正に処理することにより、環境負荷の少ない循環型社会の形成に寄与する。
対象 ※誰、何に対して	市域全体(本庁舎及び各市施設)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	産業廃棄物の収集、運搬及び処理を行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	2,534 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,534 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	01 清掃総務費
細目	030 産業廃棄物処理事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	2,534 千円	2,175 千円	2,152 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	資源ごみの分別を徹底しごみ減量を図り、市が排出する廃棄物の減量を進める必要がある。また、小型家電や電源コード類を別集積することにより売却が可能か検討する余地がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	産業廃棄物処理事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
本庁舎及び各施設	箇所	160	160	160

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
混合廃棄物持込量	m ³	220	175	184
廃蛍光灯持込量	k g	1,240	1,350	1,220
活動指標分析結果	24年度から実施した事業であり、処理量データが少ないためトレンド傾向の分析が難しいが、現在の処理量を基準に次年度以降の推移を注視したいと考える。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
混合廃棄物処理量	m ³	220	175	184	平成29年度	120
廃蛍光灯処理量	k g	1,240	1,350	1,220	平成29年度	2,400
成果指標分析結果	廃蛍光灯を含む混合廃棄物全般を収集、運搬及び処理ができる処理業者と委託契約することにより、持ち込まれた産廃の全量を適正に処理する必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	資源ごみ収集事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	01ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器包装リサイクル法、小型家電リサイクル法

【事業概要】

現状と課題	ごみ区分の最適化により資源化率を向上させ、今後さらに可燃ごみをはじめとするごみ排出量の削減に努める必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	ごみを燃やすことや最終処分場の埋め立てを避け、環境への負担を減らす。
対象 ※誰、何に対して	世帯(一般家庭)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	月1回各資源ごみを収集し、中間処理を経て再生事業者等に売却または引き渡す。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	65,884千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	65,884千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	02塵芥処理費
細目	015資源ごみ収集事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	65,884千円	63,091千円	75,882千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	決められた場所、時間、ごみ出しのルールを守って排出されたごみについては、当日中に全量収集しており、安全で衛生的な町づくりに寄与している。今後、ごみ発生抑制や分別指導によるごみ減量化により、効率的なごみ収集・運搬を行う余地がある。資源ごみ収集はすべて委託しており、入札を実施し、経費の節減を図ることができている。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	資源ごみ収集事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	266,443	267,434	267,043
世帯数	世帯	104,232	103,457	103,733

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
収集人口	人	266,443	267,434	267,043
活動指標分析結果	人口増加のピーク期を過ぎ、前年度に比べて若干、人口及び世帯数とも増加しているが、長期的には減少傾向になると考えられる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
資源ごみ収集量	t	3,567	3,636	3,589	平成34年度	3,033
資源化率	%	22.6	16.5	16.5	平成28年度	25
資源化率(家庭系ごみに占める資源ごみの割合)	%	6.4	6.4	6.2	平成34年度	7
成果指標分析結果	前年度と比較して資源ごみ収集量は漸増しており、今後とも資源ごみ夜間持ち去りパトロールを実施するなどして資源化率の向上を図る必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	塵芥収集事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	01ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	人口のピーク時と比較してごみ排出量は減少傾向にあるが、今後も、可燃ごみの減量化、ごみ区分の最適化による資源化率の向上により、ごみ排出量の削減及び効率的な収集に努める必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市内から排出され収集運搬された可燃ごみ等を適正に収集、運搬することにより良好な住環境の保持を図る。
対象 ※誰、何に対して	世帯(一般家庭)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	一般家庭から排出されるごみを収集する。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	211,271千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	211,271千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	02塵芥処理費
細目	010塵芥収集事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	211,271千円	204,910千円	206,965千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>決められた場所、時間、ごみ出しのルールを守って排出されたごみについては、当日中に全量収集しており、安全で衛生的な町づくりに寄与している。今後、ルートの見直しや、市直営/委託比率の見直し、ごみ発生抑制や分別指導によるごみ減量化により、効率的なごみ収集・運搬を行う余地がある。既存の委託地域については5年毎に入札を実施し、経費の節減を図ることができている。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	塵芥収集事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	266,443	267,434	267,043
世帯数	世帯	104,232	103,457	103,733

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
収集人口	人	266,443	267,434	267,043
活動指標分析結果	人口増加のピーク期を過ぎ、前年度に比べて緩やかに人口の減少化が見られた。一方で世帯数は若干増加していることから、いわゆる核家族化が進んでいることが伺える。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
家庭系可燃ごみ収集量	t	46,455	48,036	49,247	平成34年度	37,949
市民1人1日当りの可燃ごみ排出量	g	478	492	505	平成34年度	394
成果指標分析結果	各ごみ減量施策の効果、人口減の影響もあり、家庭系可燃ごみ収集量及び市民1人1日あたりの収集量は減少した。しかしながら、34年度目標値にあるごみ20%減量に向け、さらなるごみ減量化を進める必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	分別収集啓発事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	01ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	高度成長時代のごみ排出量の増大期を経て、最近の3Rの推進の効果もあり、ごみの細分化が進み、ごみ排出についてのルールがきめ細やかになった反面、そのルールの理解が難しくなった面がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	ごみ収集日程表の作成・配布、ごみ分別指導業務の委託等により、ごみ分別の指導・啓発を行う。
対象 ※誰、何に対して	市内全域
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	ごみ収集日程表の作成・配布、ごみ分別指導業務の委託を行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	17,618 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	17,618 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	02塵芥処理費
細目	005塵芥収集管理事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	17,618 千円	18,183 千円	18,882 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市民生活に密着したごみ排出について、排出方法及び収集日程等のルールを周知し、適正にごみを排出するよう指導することにより、快適で衛生的な町づくりに寄与している。持続可能な循環型社会の実現に向け、環境負荷を低減し、さらにごみ減量化と資源化を推進するためには、本事業の継続が必要と考える。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	分別収集啓発事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	266,443	267,434	267,043
加古川市世帯数	世帯	104,232	103,457	103,733

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
収集世帯数	世帯	104,232	103,457	103,733
ごみ日程表配布数	枚	120,000	120,000	120,000
保健衛生推進委員研修会開催回数	回	25	25	25
活動指標分析結果	ごみ日程表(点字版含む)を全戸配布したことにより、すべての市民に収集日程及び分別ルールを周知を図った。保衛協研修会の開催については、市並びに各地区での研修会を実施することにより、ごみ減量・分別による資源化の推進について意識が高まったと考えられる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
資源ごみ収集量	t	3,567	3,636	3,589	平成34年度	3,033
資源化率(家庭系ごみに占める資源ごみの割合)	%	6.4	6.4	6.2	平成34年度	7
成果指標分析結果	前年度と比較して資源ごみ収集量が微減しており、今後も市民啓発及び資源物持ち去りパトロールを継続して資源化率の向上を進める必要がある。今後は可燃ごみの減量化を推進する必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	一般廃棄物処理手数料改定事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	平成28年度 ～ 平成28年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	ごみ処理手数料を改定したことにより、受益者負担の適正化を図ることが出来、近隣市のごみ処理手数料との均衡を図ることが出来た。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	ごみ処理手数料の改定、ごみの減量及び資源化についての周知を行う。
対象 ※誰、何に対して	加古川市内で事業系一般廃棄物を排出する事業場
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	ごみ処理手数料の改定、ごみの減量、リサイクルに関するハンドブック並びにごみの資源化に関するアンケートを配布する。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	2,458 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,458 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	01 清掃総務費
細目	035 一般廃棄物処理手数料改定事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	2,458 千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	事業は完了している

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	一般廃棄物処理手数料改定事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
工場・事業場	社	6,647		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
工場・事業場数	社	6,647		
活動指標分析結果	加古川市内の工場・事業場に対して、ごみ処理手数料の改定、ごみの減量、リサイクルに関するハンドブック並びにごみの資源化に関するアンケートを配布した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
工場・事業場数	社	6,647			平成28年度	6,647
成果指標分析結果	ごみ処理手数料の改定、ごみの減量及び資源化についての周知を行うことができた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	塵芥収集車両購入事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	01ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	人口増加のピーク期を過ぎ、ごみ収集量も緩やかな減少傾向にある。しかしながら、核家族化の進行に伴う世帯数の増加、ごみ分別の多種化により収集作業を取巻く環境は軽減されていない。限られた時間の中でより安全に、より迅速に収集する責務を果たすため、車両の更新は必須である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	老朽化した塵芥収集車を更新することにより、修繕費用を節約し、安全で効率的なごみ収集を行う。
対象 ※誰、何に対して	塵芥収集車両
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	購入後10年以上経過した塵芥収集車両の計画的な更新を行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	13,800 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	9,300 千円
	その他特財	千円
	一般財源	4,500 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	02塵芥処理費
細目	020塵芥収集車両購入事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	13,800 千円	12,527 千円	6,080 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>購入後10年を経過している車両も多く、計画的に車両更新ができない場合、移動や収集作業中に故障するなど迅速で安全なごみ収集ができない事態が発生することが予想されるため、本事業の実施は必要と考える。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	塵芥収集車両購入事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
塵芥収集車両数	台	26	24	22

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
更新車両台数	台	2	2	1
活動指標分析結果	経過年数及び車両の損耗の状態を勘案し、28、29年度と2台ずつ更新することになっている。しかし、導入後10年を経過し、20万キロを超過している車両も多数あるため、来年度以降も計画的に車両を更新する必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
修繕発注件数	件	110	143	54	平成29年度	80
成果指標分析結果	導入後10年を経過し、20万キロを超過している車両が多数あるため、大小併せた修繕件数が大幅に増加している。ゆえに購入コストと修繕コスト並びに安全性を精査し、今後の更新計画を立てる必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	清掃一般管理事業（ごみ減量推進課）	部局名	環境部
		課（室）名	ごみ減量推進課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	平成28年度 ～ 平成28年度
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	ごみ減量に向けてさまざまな施策が必要である。
目的 ※対象（誰・何）をどのような状態にしたいのか	廃棄物の減量、資源化を円滑に進めるための情報収集を図る。
対象 ※誰、何に対して	
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	関係機関との連絡調整を行う。

【コスト】

	平成28年度（決算見込）	
事業費合計	29 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	29 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	01 清掃総務費
細目	006 清掃一般管理事業

【コスト推移】

	平成28年度（決算見込）	平成27年度（決算）	平成26年度（決算）
事業費合計	29 千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了		
	適切に業務を実施した。		

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	清掃一般管理事業（ごみ減量推進課）	部局名	環境部
		課（室）名	ごみ減量推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	ごみ減量化啓発事業	部局名	環境部
		課(室)名	ごみ減量推進課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	ごみ減量化に関する説明会等の効果もあり、減量及びリサイクルに対する意識は向上している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民及び事業所にごみ減量に対する意識を持ってもらい、ごみの減量化を推進する。
対象 ※誰、何に対して	全市民、全事業所
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	チラシ配布や出前講座などの啓発、補助金の交付、協力店の募集、リユース情報誌の発行、事業所への出前講座や戸別訪問、児童生徒への環境教育や標語・ポスターの募集

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	10,689 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	10,689 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	01 清掃総務費
細目	015 ごみ減量化推進事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	10,689 千円	4,966 千円	69 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	剪定枝・草の資源化事業や啓発によりクリーンセンター処理量は基準年度(平成25年度)より10.2%減量となった。しかしながら、目標である20%には遠い状況であるため、今後さらに施策・啓発を拡大していく必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	ごみ減量化啓発事業	部局名	環境部
		課(室)名	ごみ減量推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	266,443	267,435	267,043
世帯数	世帯	104,232	103,596	103,899
市内事業所数	件	8,585	8,585	8,585

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
市民向け説明会・出前講座・早朝啓発実施回数	回	177	181	12
事業者向け説明会・出前講座・戸別訪問件数	件	3	1	1
「ば・と・ん」掲載件数	件	77	30	31
活動指標分析結果	説明会・出前講座・早朝啓発を実施することで多くの市民・事業者 に直接啓発することができた。「ば・と・ん」は広報かがわに掲載する などにより認知度が高くなり掲載件数が増加した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
クリーンセンター処理量	トン	80,208	88,246	89,393	平成34年度	71,553
リサイクル率	%	22.61	16.52	16.46	平成34年度	27
成果指標分析結果	平成28年度より、剪定枝・草の資源化事業を開始したことにより、処理量が減少しリサイクル率が上昇した。また、クリーンセンター処理量は剪定枝資源化事業の実績以上に減少しており、啓発等の効果が認められる。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	資源ごみ収集事業（ごみ減量推進課）	部局名	環境部
		課（室）名	ごみ減量推進課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	平成28年度 ～ 平成28年度
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	分別した紙類を排出する機会が少ない。
目的 ※対象（誰・何）をどのような状態にしたいのか	ごみ減量化に向けて雑がみの分別徹底について啓発しているが、行政による資源ごみの回収は月に一度だけであり、集団回収が行われている地区はあるものの、市民にとっては排出の機会が少ないため、排出しやすい環境にする。
対象 ※誰、何に対して	全市民・事業者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	旧水道局敷地内に資源（古紙）回収ボックスを設置する

【コスト】

	平成28年度（決算見込）	
事業費合計	1,257 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,257 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	02 塵芥処理費
細目	016 資源ごみ収集事業

【コスト推移】

	平成28年度（決算見込）	平成27年度（決算）	平成26年度（決算）
事業費合計	1,257 千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	資源回収ボックスを設置し、月平均3.4トンの収集があり、十分な効果が得られている。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	資源ごみ収集事業（ごみ減量推進課）	部局名	環境部
		課（室）名	ごみ減量推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
市民（10／1付推計人口）	人	266,443		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
資源（古紙）回収ボックス設置	個	1		
活動指標分析結果	予定どおり1カ所設置した			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
資源（古紙）回収ボックス収集量	トン	13.8				
成果指標分析結果	月平均3.4トンの収集があった。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	集团回収奨励事業	部局名	環境部
		課(室)名	ごみ減量推進課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	01ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	昭和55年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市資源ごみ集团回収運動奨励金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	市内の営利を目的としない各団体が資源ごみの集团回収運動を行っている。ごみ減量のため、可燃ごみの中に多く含まれている紙類・布類の回収量を増加させる必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	資源回収意欲を高め、ごみ減量及び資源の有効活用を図る。
対象 ※誰、何に対して	集团回収運動を行う市内各団体
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	集团回収された資源ごみ(紙類・衣類)について、回収量1kgあたり7円の奨励金を交付する。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	37,977千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	37,977千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	01清掃総務費
細目	015ごみ減量化推進事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	37,977千円	40,029千円	42,005千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	ごみ減量を進めるために回収量を増加させる工夫が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	集团回収奨励事業	部局名	環境部
		課(室)名	ごみ減量推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動団体数	団体	342	335	339

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
集团回収奨励金申請件数	件	1,095	1,110	1,090
集团回収回数	回	2,635	2,695	2,559
活動指標分析結果	集团回収回数は平成27年とほぼ同程度であり、広報等による啓発の効果が表れているものと思われる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
資源ごみ回収量	キログラム	5,420,148	5,713,253	5,995,098	平成30年度	6,690,000
成果指標分析結果	実施団体数は増加したものの、資源ごみ回収量は前年度より減少し、目標値には達していない。少子高齢化による団体活動の低下並びに市内各所に設置されている回収ボックスが大きくなっていると考えられる。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	資源化センター管理運営事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	平成24年度 ～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	「大量生産・大量消費・大量廃棄の社会」から「循環型社会」へのライフスタイルの見直しが求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民及び事業者の資源のリサイクルに対する意識を高める。
対象 ※誰、何に対して	再資源化できる廃棄物を処分しようとしている市民及び事業者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	◎再資源化できる紙類を無料で受入れ再生業者に売却◎市内から回収された蛍光灯・乾電池の仕分け搬出作業◎事業所から発生する機密書類を受入れ溶解処理工場まで搬入

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	5,265 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	5,265 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	04 クリーンセンター費
細目	055 資源化センター管理運営事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	5,265 千円	4,816 千円	4,554 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業開始5年目で受入量は徐々に増えているが、さらなるPRが必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	資源化センター管理運営事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
全市民(団体・法人等を含む)	人	266,000	268,000	268,000

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
施設利用者数	人	960	732	554
紙ごみ受入量	k g	61,570	40,610	32,230
機密書類受入量	k g	5,050		
活動指標分析結果	平成29年1月より、事業所の機密書類の受入れを開始した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数(実績)	人	960	732	554	平成32年度	1,200
紙ごみ受入量(実績)	k g	61,570	40,610	32,230	平成32年度	90,000
機密書類受入量(実績)	k g	5,050			平成32年度	40,000
成果指標分析結果	施設利用人数は、対前年度比で228人増加した。紙ごみ・機密書類の受入量は、対前年度比で26,010kg増加した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	新クリーンセンター事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	01ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	平成15年度～平成33年度
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大気汚染防止法、ダイオキシン類特別措置法

【事業概要】

現状と課題	CO2排出量削減、省エネルギーへの取組など社会的要請がある。また、焼却残渣の埋立処分量の削減や資源化率の向上も求められている。平成34年度の施設解体撤去に向けての準備が必要。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	新クリーンセンターの円滑かつ適正な維持管理を行う。
対象 ※誰、何に対して	新クリーンセンターの業務統計、最終処分の事務(竜ヶ池・大阪湾フェニックス)、新クリーンセンター運営協議会、クリーンセンターにおける業務統計(車両管理等)等
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	年間計画に基づく適切な施設運営。焼却灰のフェニックスへの搬出、焼却飛灰のセメント原料化処理の実施。新クリーンセンター運営管理連絡会において、施設の運転状況、周辺環境測定結果の報告。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	16,005千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	16,005千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	04クリーンセンター費
細目	005新クリーンセンター事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	16,005千円	15,734千円	14,974千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 一般廃棄物の処理は行政の責務であり、焼却による減容化については、その必要性から引続き取り組む必要がある。
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	新クリーンセンター事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	竜ヶ池処理場管理運営事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	昭和55年度 ～ 平成33年度
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

【事業概要】

現状と課題	定期的なパトロールの結果、悪質な不法投棄は見当たらない。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	埋立処分場と排水処理場を適切に管理する
対象 ※誰、何に対して	竜ヶ池処理場
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	竜ヶ池処理場の施設及び車両等の管理

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	1,742 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,742 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	04 クリーンセンター費
細目	020 竜ヶ池処理場維持補修事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	1,742 千円	1,698 千円	3,463 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	委託事業者は、定期的に報告書を提出するとともに、緊急の場合は電話連絡を入れるなど、適切に管理している

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	竜ヶ池処理場管理運営事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	新クリーンセンター運営管理委託事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	01ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	平成19年度～平成33年度
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	大気汚染防止法、下水道法、ダイオキシン類対策特別措置法、廃掃法等

【事業概要】

現状と課題	ごみの発生及び排出の抑制と環境負荷の低減が課題。平成29年2月よりごみの広域処理のため高砂市のごみを受け入れている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	一般廃棄物の焼却処理の適正な運営管理
対象 ※誰、何に対して	焼却炉運転全般
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	業者(株加古川環境サービス)への長期包括委託による運営管理

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	1,395,846千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,395,846千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	04クリーンセンター費
細目	010新クリーンセンター運営管理委託事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	1,395,846千円	1,048,460千円	1,243,076千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 委託事業者は、週に3回報告を行うとともに、緊急時には適宜市と協議し対応するなど、適正な運営管理が図られている
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	新クリーンセンター運営管理委託事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	竜ヶ池処理場維持補修事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	昭和55年度 ～ 平成33年度
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

【事業概要】

現状と課題	浸出水の汚染状態も非常に少なくなり、処理にかかる負荷も低減している。課題としては、埋立完了までの間の老朽化した施設の管理。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	周囲環境の保全及び放流基準の遵守
対象 ※誰、何に対して	竜ヶ池処理場
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	業務委託による竜ヶ池処理場の浸出水の適正な処理と施設の維持管理

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	19,590 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	19,590 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	04 クリーンセンター費
細目	020 竜ヶ池処理場維持補修事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	19,590 千円	19,516 千円	24,976 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>平成30年度以降、浸出水は下水道への直接放流となるが、引き続き浸出水基準適合の管理、縮減された施設の維持管理を行う。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	竜ヶ池処理場維持補修事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	焼却残渣処理事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	昭和54年度 ～ 平成33年度
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大気汚染防止法、ダイオキシン類特別措置法

【事業概要】

現状と課題	大阪湾広域処理場整備促進協議会では、平成22年度に3期事業の実現に向けた一環として、最終処分委託量の減量化目標(平成12年度比60%減)を設定したが、加古川市は、各種取り組みにより、平成28年度実績で75%の減量化が行われている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	焼却残渣物の適切な処理を行う。
対象 ※誰、何に対して	新クリーンセンターにおいてごみの焼却に伴い発生する、焼却灰(不燃物)、焼却飛灰(資源化物)、鉄・スクラップ(資源化物)の処理。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	◎焼却灰(不燃物)・・・収集運搬及び処分 ◎焼却飛灰・・・収集運搬及びセメント原料化処理委託 ◎鉄・スクラップ・・・売却

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	335,111 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	335,111 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	04 クリーンセンター費
細目	005 新クリーンセンター事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	335,111 千円	351,896 千円	374,883 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	埋立処分場を将来にわたり確保するため、埋立処分量の削減が求められているが、平成26年度より焼却飛灰のセメント原料化を実施したことにより、埋立処分量の大幅な削減が図られている。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	焼却残渣処理事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
焼却灰（不燃物）	トン	3,475	3,663	4,591
焼却飛灰（資源化物）	トン	4,919	5,373	5,732
鉄・スクラップ（資源化物）	トン	461	405	0

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
焼却灰（不燃物）	トン	3,475	3,663	4,591
焼却飛灰（資源化物）	トン	4,919	5,373	5,732
鉄・スクラップ（資源化物）	トン	461	405	0
活動指標分析結果	平成26年度より、焼却飛灰はセメント原料化処理委託を行っている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
焼却灰（不燃物）	トン	3,475	3,663	4,591	平成33年度	3,200
焼却飛灰（資源化物）	トン	4,919	5,373	5,732	平成33年度	4,700
鉄・スクラップ（資源化物）	トン	461	405	0	平成33年度	450
成果指標分析結果	焼却灰（不燃物）の搬出量は、対前年度比で188トン減少した。焼却飛灰（資源物）の搬出量は、対前年度比で454トン減少した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	大阪湾広域臨海環境整備協議会 負担金事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	01ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	昭和62年度～平成33年度
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

【事業概要】

現状と課題	現行の大阪湾フェニックス事業の基本計画では、2期事業の廃棄物埋立期間は、平成39年度までとなっている
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	廃棄物の最終処分
対象 ※誰、何に対して	近畿圏の各自治体(近畿2府4県のうち、168市町村)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	法「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく最終処分場の確保

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	2,391千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,391千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	04クリーンセンター費
細目	035大阪湾広域臨海環境整備協議会負担金事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	2,391千円	3,052千円	179千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 加古川市単独で最終処分場を設置することは困難であることから、これまでどおり「大阪湾フェニックス計画」に頼らざるをえない状況である。
---------------------------------------	---

事務事業名	大阪湾広域臨海環境整備協議会 負担金事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
フェニックス事業への 焼却灰(不燃物)搬入 量	トン	3,475	3,663	4,591

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
フェニックス事業への 焼却灰(不燃物)搬入 量	トン	3,475	3,663	4,591
活動指標 分析結果	前年度実績を基にフェニックスへ廃棄物搬入量を申請している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
フェニックス事業への 焼却灰(不燃物)搬入 量	トン	3,475	3,663	4,591	平成33 年度	3,200
成果指標 分析結果	ごみ排出の減量化、適正化により、フェニックス事業への焼却灰(不燃物)搬入量は、対前年度比で188トン減少した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	竜ヶ池灰埋立最終処分事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	昭和55年度 ～ 平成33年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

【事業概要】

現状と課題	大阪湾フェニックス事業が開始されてから以降は、大阪湾フェニックス最終処分場の補完処分場の位置づけとなった。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	計画的な焼却灰(不燃物)の埋立処理
対象 ※誰、何に対して	竜ヶ池灰埋立最終処分場
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	クリーンセンターで発生した焼却灰(不燃物)の埋立及び整地

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	5,962 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	5,962 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	04 クリーンセンター費
細目	020 竜ヶ池処理場維持補修事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	5,962 千円	千円	0 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	今後の埋立業務を円滑に行うための埋立・進入路設置工事が適正に実施できた

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	竜ヶ池灰埋立最終処分事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
焼却灰（不燃物）埋立量	トン	0		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
焼却灰（不燃物）埋立量	トン	0		
購入土埋立量	m ³	972		
活動指標分析結果	平成26年1月以降は焼却灰（不燃物）の埋立を行っていない。平成28年度は、今後の焼却灰（不燃物）の埋立業務を円滑に行うための埋立・進入路設置工事を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
埋立残余容量	m ³	19,387			平成33年度	0
成果指標分析結果	平成28年度は、今後の焼却灰（不燃物）埋立業務を円滑に行うための埋立・進入路設置工事を行い、972m ³ の購入土を覆土した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	リサイクルセンター管理運営事業	部局名	環境部
		課(室)名	リサイクルセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	両荘地区
関連根拠法令等	加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	現場部門を全面委託化を実施した。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	不燃ごみ・粗大ごみを適正処理する。
対象 ※誰、何に対して	リサイクルセンター
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	民間委託により管理・運営する。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	89,092 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	5,655 千円
	一般財源	83,437 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	03 リサイクルセンター費
細目	005 リサイクルセンター管理事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	89,092 千円	77,390 千円	98,687 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	平成29年度からの全面委託化に向けた事務を実施した。今後も継続して適正な維持管理を行う必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	リサイクルセンター管理運営事業	部局名	環境部
		課(室)名	リサイクルセンター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	リサイクルセンター維持補修事業	部局名	環境部
		課(室)名	リサイクルセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	両荘地区
関連根拠法令等	加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、労働安全衛生法、クレーン等安全規則、計量法

【事業概要】

現状と課題	施設老朽化と共に故障等が増加し、点検による指摘も増えてきている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	施設の安全運転・延命化
対象 ※誰、何に対して	ごみ処理の電気・機械設備
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	日々の点検等で異常の早期発見を行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	79,338 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	68,652 千円
	一般財源	10,686 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	03 リサイクルセンター費
細目	010 リサイクルセンター維持補修事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	79,338 千円	83,794 千円	89,034 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市としての義務的事業であるため、今後も継続して事業を行っていく必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	リサイクルセンター維持補修事業	部局名	環境部
		課(室)名	リサイクルセンター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	投棄場管理事業	部局名	環境部
		課(室)名	リサイクルセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	両荘地区
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	市内に処分場のごみ受入残余量が少ない。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	磐東第2処分場の適正な運営
対象 ※誰、何に対して	磐東第2処分場
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	溝掃除等の泥のうち、土嚢袋等可燃物はクリーンセンターへ、破砕必要なものはリサイクルセンターへ、不燃物はフェニックスへ搬出。また、リサイクルセンターから排出した不燃ゴミの埋立。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	99,494 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	51,400 千円
	その他特財	千円
	一般財源	48,094 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	03 リサイクルセンター費
細目	015 投棄場管理事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	99,494 千円	45,910 千円	67,749 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	平成29年度からの全面委託化に向けた事務を実施した。今後も継続して適正な維持管理を行う必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	投棄場管理事業	部局名	環境部
		課(室)名	リサイクルセンター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	剪定枝・草資源化事業	部局名	環境部
		課(室)名	リサイクルセンター

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	01ごみを減らし、リサイクルを進める
事業実施期間	平成27年度～平成32年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	両荘地区
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

【事業概要】

現状と課題	ごみ減量化20%の目標がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	ごみ減量化
対象 ※誰、何に対して	搬入された剪定枝
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	再資源化する。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	96,509千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	96,509千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	03リサイクルセンター費
細目	030リサイクルセンター再資源化事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	96,509千円	3,418千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市としての目標であるごみ減量化のための事業であるため、平成28年度から再資源化を実施し、今後も維持していく必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	剪定枝・草資源化事業	部局名	環境部
		課(室)名	リサイクルセンター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
剪定枝及び草量 (搬入)	トン	5,804	0	

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
剪定枝及び草量 (搬出)	トン	6,035	0	
活動指標分析結果	平成28年度から剪定枝・草を燃料及び堆肥化することにより、環境負荷を抑えた。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
剪定枝及び草量 (搬入)	トン	5,804	0		平成33年度	7,000
成果指標分析結果	平成27年度までは焼却していた剪定枝・草を再資源化することにより、平成28年度は5,804tの燃えるごみの削減効果があった。					